

20th  
ANNIVERSARY

我ら歴史の糸を紡がむ

Develop Your New Stage

1994.12 No. 92

# Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 藤居 忠弘 編集責任者 小原 得雄 印刷所 東京印刷株

## 1994年度 鳥取県中小企業青年中央会 経営研修会 開催

鳥取県中小企業青年中央会の経営研修会が、11月29日(火)米子市「ホテルサンルート米子」において東部38名、中部23名、西部80名の参加のもと開催された。

今回の研修会は「東アジア経済交流の新動向—日本海沿岸地域の発展と北東アジア経済委員会の役割—」をテーマに、日中東北開発協会・理事長 岩崎篤竟氏を講師に迎えて開催された。

講演に先立ち北東アジア地域と密接な関係が期待されるFAZ計画を、「境港FAZについて」と題し、鳥取県商工振興課主幹 斎藤明彦氏により、鳥取県における、FAZの取り組み状況について、約30分間説明いただいた。

FAZ全体として、「輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法」に基づき、港湾・空港を中心に、市町村単位で地域設定した地域に輸入に関する施設・事業活動を集積させ、

輸入促進基盤施設を整備し、輸入の促進を図る目的の為に行なわれている。

現在、全国で18地域が承認・作成地域として検討をしている。その中で境港FAZは、鳥取・島根県8市町村(境港市・米子市・日吉津村・松江市・安来市・美保関町・八束町・東出雲町)にまたがる広い地域で、他指定地域に比べて多い市町村で形成されている。これは、全国的レベルにする為、地域が広がった。境港FAZは今年度計画作成地域指定を受けたばかりで、今後中心となって活動する第3セクターの設立が急がれている状況であり、環日本海をにらんだ計画と、境港の特性を発揮させるために、鳥取県で生まれた“氷温”を充実させ、氷温倉庫の施設設備も、盛り込んでいった方が良く、また、将来、東



アジア地域をも含めた、大きいFAZに対応出来る施設整備が望まれる。という説明があった。

引き続き、本テーマの講演が岩崎氏より行なわれた。

まず、日本東北開発協会の概要説明があり、中国の遼寧省・吉林省・黒龍江省および内モンゴル自治区の一部の中国東北地区との経済交流促進の為1984年12月に設立され、ここ数年間、中国の改革・開放政策により、貿易額および投資額が増加傾向にあり、路線が本格化してきた現在、当協会の役割が重要なものとなった。こうした中で、情報収集等、現実的な活動が必要となり、2年前に企業から出向のかたちでスタッフを形成した、「北東アジア経済委員会」を設立し、実業をふまえた活動を現在行なっている。国連UNDPの構想による、「図們江流域開発計画」等、各開発プロジェクトへの参画、開発地域への投資、対岸地域の情報の活用等を主体として、日本と深い交流の歴史をもち、発達した鉱工業基盤を有する東北地方を中心とする地域への企業進出の案内役、また交流ルートとして、今後も活動してゆきたい。実際の活動は、各企業また、地元の人により、方向性を見出すべきもので、協会としては協力しか出来ない、ということであった。



境港FAZを推進している鳥取県は、いかに東北三省および周辺地域が重要であるか、改めて考え、参考になった企業もあったと思う。

その後同会場にて懇親会が行なわれ、アトラクションでは、来賓、講師もまじえて、大いに盛り上がり時間が惜しい気分にて無事、東中西の交流を深め終了した。





覧将会(第18期OB会)会長  
中島 俊二 氏

## — 20周年に寄せて —

今回は卒業間もない中島俊二OBに  
お願いしました。  
中央会の思い出等について、語って  
頂きました。

青年中央会を辞して一年余り経し今在籍期間中のことが懐しく、微苦く走馬灯のようにメランコリーとペースをもたらしす。

歴代会長の二十年間の蹄の跡は消しがたいものです。しかし、青年の心意気とは別に世の中の変化は経済にせよ、政治の世界にせよ、確実に変革の時代となって来ました。こう言う波乱の時にこそ青年経済団体の雄として真の王道として進むべき道を模索するのが西部青年中央会ではないでしょうか。日替り弁当ではあるまいし、会長が変われば年間テーマが変わるのではなく、未来を見すえた長期計画をたて、目的達成の為に歴代会長に継続的に運動、活動をしていただきたい。

幸にも藤居会長の元、「中長期ビジョン検討委員会」が結成されたことは大変有意義なことと思います。20代会長にふさわしい目標を見すえて下さい。過去においてでも大変立派な種々の提言、陳情が公的機関行政等に、西部青年中央会としてなされたがほとんどが不採決及消滅してしまつた。大変おしい気もします。中でも特筆するのが「どうする山陰」(秦野一憲会長)の延長線上にあるのが現在の中海圏拠点都市であると思います。このような会をあげての活動として、市民をまき込んだ運動を青年という冠をつけた経済団体はすべきではないでしょうか。幸い二市二郡にまたがる青年中央会はさきめのこまかい、グローバルな活動が使命となってくると思います。中央会が後援、又協力

するイベントに対し、継続性をもたせ、強力的に街づくり、又都市計画づくりに活性化に、もっと掘りさげて研究してほしいものです。

昔話の毒舌放談：「中央会の会合は月2回、役員になつたとして3~4回の出席」とある忘年委員会(夫婦同伴)で発言したところ、長老会員数名より「月何回の出席と余分なことは言うな」と叱責された(その人は外出の時はいつも中央会だったらしい)。OPENしたての某ビジネスホテルで委員会をしたら部屋の様子、出入口等を入念にチェックされた会員あり。

視察旅行にいったら、夜中まで帰ってこなかった真面目会員2名。役員会の監事講評で「久々の大物会長の出現」と持ち上げ発言をしたところ、後日会長経験者等から「中島は誰を大物と思っていたのか」など持ち上げならぬ突き上げを喰ってしまった。

みんなみんな懐かしい思い出!自分自身を忠実に生かさせていただいた気もします。又、暖かく?見守って下さいました先輩諸氏には感謝申し上げます。ジョークで通る鷹揚な大人の会であったと思います。

さて藤居会長より「元服」した中央会の出発となる訳ですが、会としての自己意識、自己啓発の高揚され、更なる発展されんことを御祈り致します。

藤居会長の「狼煙」のもと全会員が「松明」を高くかざして確実に強く進んで下さい。 合掌

## 第46回 中小企業団体全国大会開催される

11月16日(水)、第46回中小企業団体全国大会が、横浜市の国立横浜国際会議場(パシフィコ横浜)で開催された。会場には、全国から約5,000名の参加者が一堂に会し、鳥取県中小企業青年中央会からも、角田県会長をはじめとして、西部9名(角田、藤居、高田、小原、松本(啓)、松岡(晃)、森永、和田、市位)、東部9名、中部4名の計22名が参加した。

大会では、主催者、来賓の挨拶に続き、議事に入り、長引く不況の中、中小企業が直面している諸問題の打開策として、中小企業対策予算の大幅増額、景気・円高対策の実施、税制改革、規制緩和問題等に関する議題が決議され、最後に「めざせネットワーク新時代」をテーマに、21世紀に向けて決意を語り合い、中小企業の意義を再確認し、団

結を強め、組合の活動を通じて、自らの経営を改革し、環境変化に果敢に挑戦することを期する旨の宣言案を決議して大会は無事終了した。



## 11月例会報告

11月例会は『私の興味 中東地域』という演題で、合併調印後の慌ただしい中、山陰酸素工業(株)社長 並河 勉 氏をお迎えし開催されました。

講演ではまずグループ企業の概要の説明があり、現在では関連企業22社、従業員数1000名の企業体になり、「総合商社的」な企業にそだち、又、社長として最大の仕事は、「社長の給料を決める」ことであり、その時期は「1年間の業績を集約した時

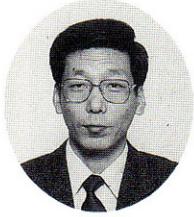
なので「1年間で一番緊張」をされるそうです。

アラブ世界では宗教が大事であり、中東からの原油・LPガスの依存度は平成4年度でそれぞれ75%・80%に達し、この地域の問題がすぐ日本経済に響くことを力説され、中東・イスラム教の基本的認識を身につけて国際化していくことが必要であり、国際化とは「国際的な問題をどこまで理解しているかであり、裏返して

考えれば日本のことをきちっと理解しているかが大切である」と講演を締められました。



# トライアスロン部長の抱負



マラソン部長  
音田 猛

この度、トライアスロンマラソン部長を仰せつかり、光栄かつ責任の重大さを感じております。

松岡副競技委員長・高田(耕)直前部長そして、新たに選任される、マラソン部のスタッフのアドバイスを受けながら、頑張りたいと思います。

私の抱負は、

- 1、資料作り (大会準備作業のマニュアル化)
  - 2、和造り (大会当日、各エードステーションそしてボランティアの方のコミュニケーション)
- 以上2点を中心に青年中央会の精神、英知・友愛・団結をモットーで行きたいと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様、そして、御家族様の協力で、来年7月の記念大会(第15回)を成功させましょう!!

よろしくお願ひ致します。



ボランティア部長  
石谷 勝

全日本トライアスロン皆生大会を体験することも6回となりました。

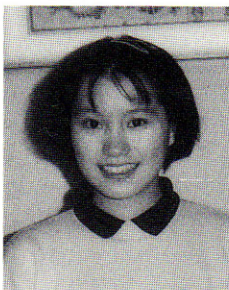
毎回新しい感動と出会いを得て、この大会に携わる楽しさを感じています。

来年15回記念大会を迎え、大会本部もすでに活動を始め、様々な記念事業も計画されているように聞いています。

ボランティア部では、多くの一般の方、そして企業・自治会等に御願ひして当日運営をしています。しかしながら、一般の方々の参加者は減少傾向が見られます。これは当会の状況とも共通しています。

運営面での稚拙な部分もありますが、当会の綱領を会員の皆様にも理解して頂き、ボランティアの意味を考えて頂きたいと思っております。そして、次大会では会員皆様と当日楽しくボランティア活動をしたいと思っております。

## さわやかさん こんにちは



今回は、あけぼの幼稚園勤務1年目の、笑顔のかわいいキュートな幼稚園の先生です。(自称 あけぼの幼稚園のキョンキョン)

学校法人あけぼの幼稚園  
波多野会員推薦

吉原 明子

昭和49年3月2日生 20才 AB型

### \*趣味

1. ドライブ:愛車は、オプティ。よくぶつけています。ボコボコになってしまいました。この間は、追突されました。ちなみに給料の半分が修理代に消えてしまいます。
2. 料理:いも料理が得意です。早く彼を見つけて私の自慢のいも料理を食べさせてあげたいです。
3. 音楽:エレクトーンを買いました。ローンの返済で首が回りません、どなたか助けてください。

### \*好きなタイプ

馬ズラのジャガイモみたいに顔がボコボコしたひょうきんな人が好きです。

### \*嫌いなタイプ

ハンサムな人で、べたべたと言ひ寄ってくる人。

### \*結婚観

30才までには結婚して、子どもは3人位。休日は、お弁当をもって野球や、サッカーなどスポーツ観戦を楽しめる家庭が持ちたいです。

### \*休日

ウインドウショッピング。早く私にプレゼントをしてくれる彼が現れますように願っています。

## 中長期ビジョン 検討委員会 報告

(第2回)

11月22日(火)米子食品会館に於いて、藤居会長をはじめ、各副会長出席のもとに第2回中長期ビジョン検討委員会が開催された。

最初に会長より再度、当委員会結成の趣旨説明とお願ひの挨拶を戴いた後、委員全員が、自らの所属委員会に持ち帰って討議した「委員会活動(案)及び活動内容に対する意見」を取りまとめて発表した。

それぞれの委員会の都合上、報告だけで討議の時間が取れなかった委員会もあったようだが、各委員会から持ち寄った意見、要望等をもとに、再度当委員会で見聞発表をし、討議を重ねた。

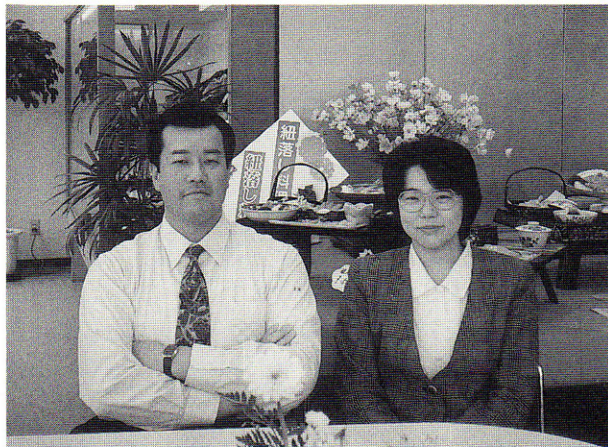
意見の中では、組織自体の運営をもう少し考え直したらどうだろうかとか、年度当初からスタンスを明確にした事業計画を組み、スタートした方がよいのでは、など多数の意見があった。様々な意見の中から、とりあえず、各委員会が目的意識を明確にし、積極的に委員会活動に参加し、もっとディスカッションできる活発な会づくりを考え、検討、研究していこうと言う意見にまとまった。

次回の委員会では、どうしたらそのような活発な会にできるかを、各々の委員会に持ち帰り、意見、要望を取りまとめ、第3回委員会に持ち寄るとすることで第2回目の委員会を閉会した。

## 妻の本音

「私の夫」 土井 綾

身長180cm、体重100kg+α、学生時代少林寺拳法で鍛えたこの体、一見とても怖そうなのですが、似合わず細目のとても優しい目をしています。(随分と損をしているのかもしれませんがね。) 仕事柄年中ほとんど休みがなく、「たまには休みたいね。」と言う私に「気持ちの持ちようで休みなんていつでも取れるさ」と、まるで仕事人間のようなセリフ。夜も出掛けることが多いのですが、たまに家に居ると待ってましたとばかりに三人のチビッコギャングに捕まっています。お父さんには体ごとぶつかることができるので子供達は大喜びです。その姿にほっ!と安心する私です。来春は上の子が小学校です。家族の時間をもっともっ



と大事に考えていきたいものです。

## 聞いてごしない Part 8

### 「ビジョン委員会」

藤居会長の深い思い入れにより、10月下旬、中長期ビジョン検討委員会(略して「ビジョン委員会」)が発足した。委員会の構成は、各委員会より選抜された委員10名からなり、必ず4役全員が出席する形で毎回開催するとのことである。開催日は、毎月例会以降の日と決め、最低月1回以上開催する。会長を始めとする執行部の熱の入れようがうかがわれる。

第1回目の委員会では、テーマが広すぎて焦点が絞り切れないとの意見の中、委員それぞれの立場から見た中央会に対する意見が続出し、最近減多とない議論の場となったようだ。「単純な勉強会とすべきだ」、「地域貢献のために中央会に入会したのではない」、「単年度事業では何もできない」、「議論の積み重ねによって形成された意見がない」、「一般会員の知らないところで方向が決定されている。」、「鳥取県西部で最大の青年経済団体として、ドンドン外に向かって物を言うべきだ」、「中央会って何?って聞かれたとき、明確に会の特徴を述べるができない」等々…挙げればキリがない程の意見が噴出したらしい。委員会がミニ例会(ミニ講演会)化していると感じる中、熱気あふれる頼もしい委員会だ。

会員意識の変化、地域の中での会の役割の重要性等を考えると、この際、徹底的に今までの会のあり方を見直し、良い面、悪い面をさらけ出し、今まで以上に成熟度を増した魅力ある西部青年中央会にすべく、検討、研究して頂きたいと願う。

聞くところによると、このビジョン委員会では、討議した内容を、各委員が必ず自分の所属する委員会に持ち帰り、所属委員会で出た意見、要望等を次のビジョン委員会に持ち寄り、検討するという手法をとるのだという。新しい試みである。「委員会報告」、「役員会報告」がともすれば形骸化していると感じられる中、会員一人一人の意識が反映されることにもなる。

この委員会が、結果として何を残せるのかは今の時点では分からないが、会の歴史に残る活動となることを期待して止まない。

(文・てなぐさみ)

12月	日時	12月15日(木)	18:30~
	場所	ホテルわこう	
	テーマ	忘年会	
	担当	フレッシュ委員会	

例  
会  
案  
内

暮れも押し迫りました。半期の中央会活動、いかがでしたでしょうか。万感の込もった12月例会です。何かと忙しい時節ですが、皆様の多数の御出席をお願いします。

楽しいゲームも用意してあります。

※出席の有無を12月12日までに返信ハガキにてご回示下さい。

12月役員会報告

12月定例役員会が12月1日(木)、米子国際ホテルに於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。

- (1) 1月例会開催の件
 

日時	1月20日(金)	18:30~
場所	サンシャイン平安閣	
担当	地域交流委員会	
- (2) 新入会員申し込み状況の件
- (3) その他

※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。



編集後記

今年も残すところあとわずか、12月の声を聞けば会員諸氏におかれましては日々あちらこちらで、余興のカラオケもすっかり板についてプロ並の声も囁れかけの頃では……青年とはいえ、身体に気をつけて下さい。

(M・N)